



PF における分散削除

Zoom・対面開催

2025年

2月15日(土)

15:30-17:00

参加費無料

大学院生・研究者対象

対面参加

上智大学 四谷キャンパス
中央図書館8F L821室
事前申込みは不要です



Zoom参加

Zoom参加申込みはこちらから
(要事前申し込み)

申込締切:2/13(木)15:00

<https://eipro.jp/sophia/events/view/SOLIFIC20250215>



船越 健志氏

(獨協大学外国語学部准教授)



講演概要 : Chomsky (1993)や Lasnik and Funakoshi (2011)では、それぞれA'連鎖、A 連鎖に対してLF において分散削除 (scattered deletion)が適用されるケースが議論されている。本講演では、日本語の間接疑問文の疑問詞が分裂化する現象 (Takano2021 を参照) の分析に基づいて、PF でもA'連鎖に分散削除が適用されるケース (Nunes 2004 などを参照) が存在することを論じる。分散削除は痕跡理論では捉えることが困難な現象であり、その存在は移動のコピー理論の妥当性を示す強い証拠だと考えられる。さらに、分散削除分析を仮定すれば、間接疑問文の分裂化において観察される特殊な韻律パターンが、Ishihara (2002)の音韻的阻害効果 (phonological intervention effect) の一種として捉えられる可能性があることを指摘する